



ゼロ災への挑戦 !!

news ANZEN



Kaiho. anzen

発行:大日本土木安全協力会

東京都新宿区西新宿6-16-6

☎(03)5326-3772(直通)

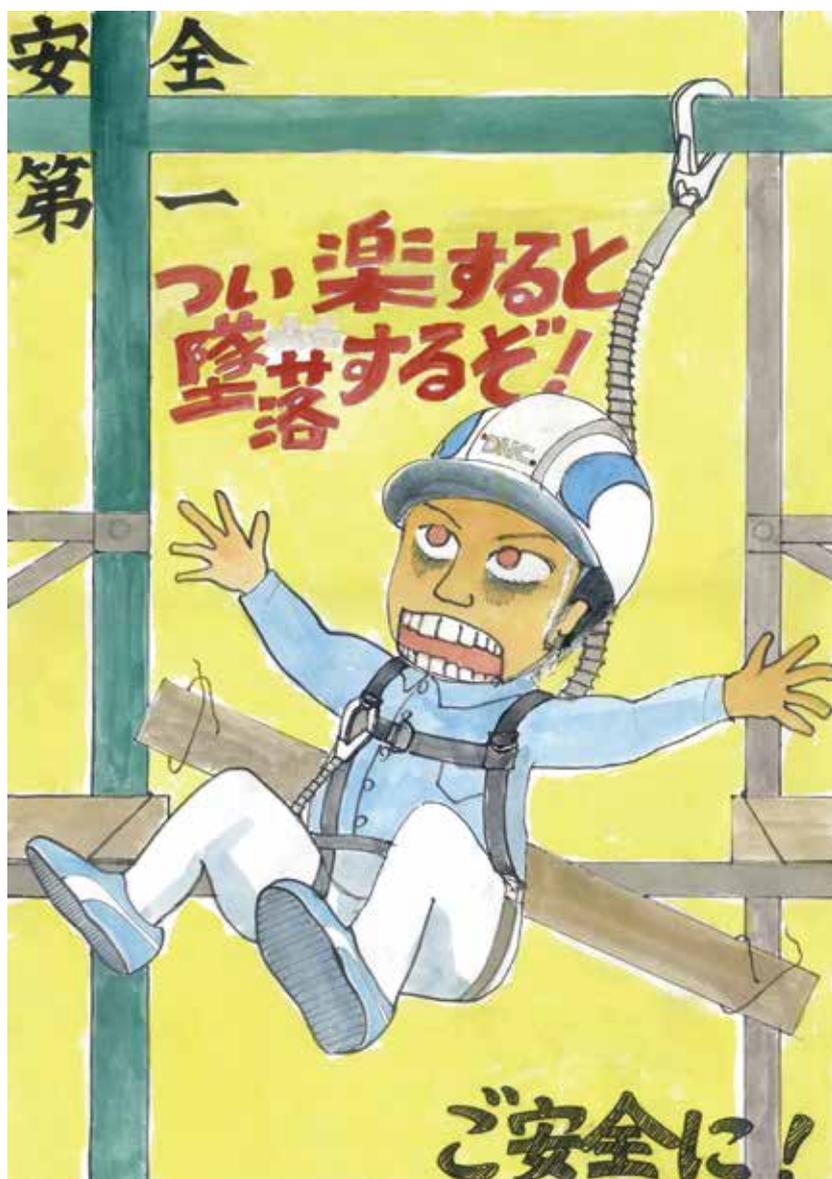
令和4年4月

No.137

# 全国安全週間

2022年7月1日▶7日

準備期間 6月1日▶30日



危ないと話す勇氣と聞く心

チームで作る安全職場

最優秀賞 東日本支社 山本一人 作品

最優秀賞 西日本支社 鵜飼 真行 作品

大日本土木(株)・大日本土木安全協力会







## 2022年度安全衛生管理計画推進に向けて

大日本土木安全協力会  
名誉会長 櫻井 俊介

(大日本土木(株) 代表取締役 専務執行役員)

ご安全に！

平素より当社の作業所安全衛生管理活動について、ご協力とご支援を賜り、また安全協力会の活動におきましても格別のご尽力を頂いておりますことに篤く御礼申し上げます。

2022年度は、安全目標である「死亡・重篤・公衆災害 ゼロ」を掲げ、重点項目として「墜落・転落災害、建設機械・クレーン災害、倒壊・崩壊災害、飛来落下災害」に加え、前年度頻発した第三者災害やヒヤリ・ハット事例についても注力していきたいと思っております。また国の施策であるCCUSの継続普及に努め、働き方改革への対策も期限を意識して進めていかなければなりません。特に働き方改革については、当社は今年度、専門部署を設けて労働時間の改善に務めてまいります。そのため安全協力会会員の皆様にはご理解を頂く場面が時に発生する場合がございますので、ご理解をお願いいたします。

2021年度の私達を取り巻く環境は、継続する新型コロナウイルスのオミクロン株の全国的な感染拡大で、作業所労働環境や日常生活に関して、多くの継続対策を実施する年度となりました。残念ながら新型コロナウイルスは完全に終息したとは言えず、まだまだ次の感染拡大に備えておく必要もありそうです。また建設市場におきましても建設資・機材の価格高騰の市況がいつまで継続するのか不安な環境にあります。世界に目を向けますと、ロシアによるウクライナ侵攻による世界情勢の不安定化が発生し、特に今後のエネルギー調達に大きな不安を予見する環境でもあります。

この様な状況下で、当社の2021年度の安全成績は、当社分として前年度とほぼ同様の結果となっています。建築分野の発生件数の多さは前年と同様の傾向ですので、今年度は建築部門の災害防止件数の削減に注目していきます。また、残念ながら海外支店では当社の作業所で建設工事車両による死亡事故も発生しています。発生事例の研究と効果的な対策を継続することで、「死亡・重篤・公衆災害 ゼロ」を目指します。

当社は「安心をつくり続ける」の企業理念を掲げています。困難の多い労働環境や市場環境にあっても、確り変化に対応するために、会員各社の皆様と当社職員で、共に知恵と経験を出し合うことで厳しい環境下でも成長していくことが必要です。結果として安心へとつなげることが出来ると思っております。

2022年度は、労働安全衛生法が1972年に施行されて50年目の節目とのことです。この法律の最大の目的は労働災害の減少です。特に死亡事故の根絶は絶対の目標で必ず達成せねばなりません。建設労働に係る法律・法令や社会のルール等が大きく変化していく昨今、当社は安全協力会の皆様へのタイムリーな広報や周知・教育の場を積極的に設けていきますので、災害防止や安全衛生環境の改善に向けて、より一層のご協力とご理解をお願いいたします。

節目の年を良い安全成績で終われることを期待しています。ぜひゼロ災害を達成しましょう。

年度のスタートにあたり、会員各社の皆様の益々のご繁栄とご活躍を祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

ご安全に！



## 新事業年度を迎えて

大日本土木安全協力会  
本部会長 佐々木 邦衛  
(児玉建設(株) 代表取締役)

ご安全に！

新事業年度に当たり、安全協力会会員の皆様には、日頃より本部及び各支部の安全協力会の事業計画、並びに労働災害防止活動に、ご尽力とご協力を賜っておりますこと、心より御礼と敬意を表する次第でございます。

一昨年度、昨年度は「コロナ禍」での活動となり、本部・支部共に計画に沿って活動を実施したものの、コロナ前と比べると十分な活動とは言えず、大変に残念な思いです。しかしながら、昨年度末にやっと「コロナ禍のまん延防止策」が解除と成りましたので、今年度は従来通りの協力会活動が実施できるものと期待しております。皆様には、今後の事業運営に是非とも変わらぬご支援ご協力の程、宜しくお願い致します。

昨年度の世の中の動きは、一昨年度からの「コロナ禍」により国内外を問わず、人々の行動や生活が厳しく制限されると言った状況が続き、会議や会合やイベント等がことごとく中止や延期されるなど、社会活動が抑制され活気に欠ける環境であったかと思えます。

そのような中であって、安全協力会としての当初の計画による活動が結果として出来ず、各作業所、各企業単位の活動負担となってしまった事は「コロナ禍」とは言え会員各社に申し訳なく残念に思っているところです。

昨年度の安全成績（労働災害・公衆災害・第三者災害）は、海外で大きな労働災害が1件、その他の不休も含めた労働災害（JV サブ除く）は、東日本（4件）中日本（13件）西日本（4件）海外（2件）、公衆災害は全体で13件と残念ながら多数起きているのが現状であり、深く反省しなければなりません。

我々の建設業界も人手不足は否めず高齢者や未経験者や外国人労働者に頼らざるを得ないのが現状かと思えます。そんな中で実行性のある安全管理のもと「全員参加の先取安全」を掲げ、今年こそ立派な無事故無災害の成績を上げられますよう、安全協力会会員各社のご協力ご支援を是非よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、大日本土木株式会社の益々のご繁栄と、無事故無災害、合わせて「コロナ禍」の収束をご祈念申し上げ新事業年度に向けてのご挨拶とさせていただきます。

ご安全に！



## 新事業年度を迎えて

大日本土木安全協力会  
東京支部長 藤澤 徹  
(株)森田組 代表取締役

ご安全に！

新事業年度を迎え、まずは安全協力会会員の皆様には、大日本土木安全協力会東京支部の事業計画ならびに労働災害防止活動の運営に、日頃から格別なご支援とご協力を賜っておりますことを心より御礼と敬意を表しますと共に、今年度もよろしくご支援とご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます、また、一言ご挨拶申し上げます。

昨年度もやはり、コロナ一色であったように思えます。東京都内では、ワクチンをはじめとする感染対策が功を奏し、令和3年末ではこのまま収束するかと思われましたが、年が明け、令和4年に入ると変異株の影響で第6波が猛威を振るい、わずか1か月で新規感染者が2万人を超える状況となりました。現在では下降傾向であるものの、頭打ち状態であることは否定できません。まん延防止措置の延長、延長で会員の皆様も気が滅入ることと存じます。この未曾有の状況を手探りでやれるべきことを実施していくしかない状況です。この未曾有の状況を手探りでやれるべきことを実施していくしかない状況です。この未曾有の状況を手探りでやれるべきことを実施していくしかない状況です。この未曾有の状況を手探りでやれるべきことを実施していくしかない状況です。

安全成績におきましては、昨年度2月末時点で、土木作業所で休業4日以上が1件、建築作業所で休業4日未満1件、不休災害2件の結果でありました。土木作業所で4日以上の休業災害の原因は、作業手順の逸脱でした。作業効率を追い求め、本来実施すべき作業を省略し、その結果、休業災害が発生いたしました。作業手順書の重要度合いを再認識した災害でありました。

建築作業所においては2年半近く4日以上の休業災害は発生しておりませんが、休業4日未満の休業災害、不休災害といった軽微な災害が発生していることを踏まえ、連鎖、波及しない指導管理を会員皆様よりご指導の程、よろしくお願いいたします。

昨年度の活動内容ですが、新型コロナウイルスの影響で、支部総会の中止、それに伴う安全協力会事業承認の書面決議の実施、安全協力会役員のコミュニケーション不足等、計画通りの活動が遂行出来ませんでした。しかし、そのような環境下においてもパトロールの実施、安全指導啓発、職長会助成等といった継続的な側面活動を実施して参りました。また、パートナー会とタイアップし、会員の皆様への情報提供、意見交換といった活動も実施して参りました。今年度は、新型コロナウイルス感染状況が落ち着き、皆様へ少しでも、有益な情報、活動を提供して参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

フルハーネス安全帯の適切な使用、石綿ばく露防止の強化、溶接ヒュームばく露防止の強化等、社会情勢は目まぐるしく変化しております。安全協力会としましては、店社と協同し、その変化に対し適切に対応が図れるよう、展開していきたいと考えております。会員会社の皆様におかれましては、適切に実施できるよう、人材育成、担い手の確保をお願い致します。

最後になりますが、新事業年度を迎え、会員の皆様におかれましては、より一層の安全衛生活動を推進して頂くことをお願いし、大日本土木株式会社ならびに会員皆様の無災害達成、また、早期の新型コロナウイルス感染収束をご祈念申し上げますご挨拶とさせていただきます。

ご安全に！



## 新事業年度を迎えて

大日本土木安全協力会  
名古屋支部長 森屋 泰則  
(株)森屋製作所 代表取締役

ご安全に！

名古屋支部会員の皆様には、事業運営及び労働災害防止活動に日頃から格別のご支援を頂いております事、ここに厚く敬意を表しますと共に本年度も引き続きのご協力の程をお願い申し上げます。

一昨年に続き昨年も新型コロナウイルスに終始振り回され、その対応に明け暮れた1年でした。皆様も親族や周囲の方が罹患され、また濃厚接触者となり、非日常を過ごされている方も多かったと思われまふ。この挨拶文を考えている今日も、中部地区のいくつかの県は「まん延防止等重点措置期間」にあります。新たに変異を繰り返すウイルスとの闘い(または共存)は、今後も長く続いていくのだと思われまふ。

さて2021年度の建設業界を考えると、国土強靱化対策などにより2020年度に落ち込んだ反動から受注が増加傾向にあり、また政府のいろいろな支援により建設業者の倒産件数は減ったというデータが出ていますが、なかなか実感として捉えられていません。人手不足や世界情勢の目まぐるしい変化による資材価格の上昇など、とても回復の兆しを感じている状況では無いと見え受けられます。

2021年度は、当支部(中日本支社)内において事故が多発した年でもありました。軽微な事故が多かったのですが、第三者が被災された(被災するリスクがあった)事例や架空線損傷など公衆災害が際立ったと思われまふ。被害が大きければ、行政責任や民事・刑事責任の他に社会的な責任も問われ、大きな代償を払わなければなりません。よって、安全協力会としてもまず自ら足元を見つめ直し、各々の安全活動を活発化させなければならないと考えています。そのまず一歩として、職長会運営の活用が必要だと思っています。2021年度は多発する事故への対策として、例年より多く職長会の発足が見られました。来年度も安全活動の有効な手段として多くの現場が運営していくよう指導していきます。

昨年度の挨拶にも書かせていただきましたが、やはり早く通常の安全活動や行事を実施したいと熱望しております。事故防止への対策の一つとして、安全協力会の皆様が「ゼロ災」という目標へのベクトルをひとつにし、仲間意識や意識高揚の場として安全大会などが必要と感じています。コロナ禍が続いていますが、今年こそは開催したいと思っています。

最後になりますが、厳しい状況が続く安らぐ余裕が見えない今日この頃ですが、少しでも明るい未来を信じ日々の業務に専念し、本年度も会員各位のトップが率先し「ゼロ災」を達成すべく、改めて会員皆様のご指導・ご協力をお願いして新年度のご挨拶と致します。

ご安全に！



## 新事業年度を迎えて

大日本土木安全協力会  
大阪支部長 山川 数也  
(株)山川 代表取締役社長

ご安全に！

新事業を迎えるにあたり、大阪支部会員の皆様には、平素より大日本土木安全協力会大阪支部の事業運営、労働災害防止活動にご支援を賜り、ここに厚く御礼と敬意を表しますと共に、令和4年度もご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

今年も新年度新事業がスタートいたしました。新型コロナウイルス感染は、2019年12月に中国で初めて報告され、今なお世界的流行を見せています。日本では現在、感染者の累計数が約700万人、死亡者数は28千人に上っています。新型コロナウイルス感染症は、全国的に減少傾向にあるものの、新たな変異株が確認される等、依然として予断を許さない状況です。また、近年気候変動の影響により自然災害が激甚化している中、昨年7月に総雨量400mm以上の記録的な大雨により、静岡県熱海市伊豆山之逢初川で土砂災害が発生し、尊い人命が失われました。建設業は、維持管理・インフラ整備、災害対応など「地域の守り手」として大きな役割を担っています。

建設業における労働災害の現状をみると、ピークであった昭和36年に比べ約10分1程度まで減少していますが、近年その現象が鈍化しています。災害の発生内容も依然として、墜落・転落災害、重機・クレーン等災害、倒壊・崩壊災害という三大災害が大半を占めています。特に墜落・転落災害の防止については、墜落防止設備の設置（開口部、端部、足場）、墜落制止用器具の確実な使用を実施し、重篤災害及び死亡災害を減少させなければなりません。西日本支社での令和3年度の災害発生状況は、当社カウントで労働災害が3件、公衆災害が2件発生しました。西日本支社の安全衛生方針にあります「職場で働く関係者の協力の下「先取り安全」を確実に言い、不安全行動と不安全状態を皆無にする」を達成する為、労働安全衛生法令、社内ルールを守り作業所において「ヒヤリハット」を見逃さず、各自がその場で是正を行い、店社及び安全協力会による安全衛生活動の充実を図らなければならないと思います。

大阪では、2025年に大阪万博が開催予定です。経済雇用情勢の活発化が予想される中、建設業を魅力のある産業にするには、「処遇改善」「働き方改革」「生産性向上」を強化していく必要があると思います。昨年度もお伝えをしたと思いますが、建設業における労働災害防止の主役は、事業者と現場で働く皆さんです。自主的な安全衛生活動を実施して頂いて災害防止に努めて頂きたいと思います。

最後になりますが、新事業年度を迎え、会員の皆様におかれましては、より一層の安全衛生活動を充実させ、災害のない職場にして頂き、会員各社の益々のご繁栄を祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

ご安全に！

## 作業所における安全衛生管理のための重点管理事項具体的な内容

作業所は、元方事業者としての統括管理義務を遂行する

### 1) 作業所長の確実な統括管理の遂行

- ① 労働安全衛生法、社内基準に則した作業所ルールの確立と周知徹底
- ② 安全管理の3原則（整理整頓・事前打合・現場点検）の推進
- ③ 指定危険作業、予定外・非常作業時における事前打ち合わせの徹底
- ④ 作業手順書周知会の指導確認
- ⑤ 建設キャリアアップシステム、グリーンサイトを活用した労務管理

### 2) 墜落・転落災害の防止

- ① 墜落制止器具の適切な装着、確実な使用の徹底
- ② 足場、開口部、作業床（端部）からの墜落防止設備の先行設置確認
- ③ 開口部・スラブ端部の養生計画、実施状況の確認
- ④ 足場管理体制図の確実な運用

### 3) 建設機械・クレーン災害の防止

- ① クレーンの転倒事故防止  
クレーン作業計画を遵守、過負荷防止・巻過防止等の安全装置を有効に保持、定格荷重を超える荷重をかけて使用しない
- ② 立入禁止、接触防止措置の確認  
重機作業計画による機種を選定・設置地盤の事前確認・資格の確認、指揮命令系統の明確化)
- ③ 「バックホウ作業においては原則後退禁止」、「それ以外の重機作業では誘導合図なしでバックしない」の周知徹底
- ④ 重機作業における死角体験教育・誘導訓練教育等の実施

### 4) 崩壊・倒壊災害の防止

（土止め支保工・型枠支保工・解体作業・はい作業・足場）

- ① 解体工事における施工検討会の実施  
事前調査に基づく解体工法・作業順序・控えの設置方法等、リスク低減措置を盛り込んだ施工計画及び作業手順の作成・実施の徹底
- ② 緊急・異常時体制の確立及び教育・訓練の実施
- ③ 地盤の事前調査、掘削法面作業は作業開始前点検の励行

### 5) 飛来落下災害の防止

- ① 工具や資材を落下させないための事前防護  
落下防止ネットや工具落下防止ロープ等を活用し、万が一落とすようなことがあっても下面まで落下させない
- ② 上下作業の禁止、立入禁止区域の設定  
作業手順の事前打合せ、朝礼等で関係者に周知

- ③ 強風による資材などの飛散防止  
安全コーンや看板等は確実に固定

6) 公衆災害等防止

- ① 周辺状況（地盤、埋設物、架空線、近接構造物、飛来・落下物等）の事前調査と災害防止対策の作成・実施
- ② 第三者災害防止対策の実施状況確認（作業区画境界、特に出入り口）
- ③ 交通事故防止のための指導・確認

7) ヒューマンエラー、不安全行動に起因する災害防止

- ① 6S運動「整理・整頓・清潔・清掃・しつけ・しつこく」の推進
- ② 労働災害事例教育、ヒヤリハットの情報共有による労働災害要因排除
  - ・作業手順の改善
  - ・安全設備の充実
  - ・見える化

## 協力会社の自主管理能力の向上促進

- (1) 事業者責任の遂行
  - 1) 作業所安全衛生活動の積極的参加
  - 2) 作業所で決められたルール、安全指示の遵守
  - 3) 当該作業所に合致した確実な送り出し教育の実施
  
- (2) 安全施工サイクル活動の展開
  - 1) KYミーティングにおける安全唱和の実施
  - 2) 不安全行動排除のため、一声かけ運動、一人KY、現地KY、ヒヤリハット、グーパー運動の積極的推進（コミュニケーションの充実）
  - 3) 保護具の完全着装の実施（ルールを守らない者に対する再教育の実施）
  - 4) 指定危険作業の事前打合せの実施
  
- (3) リスクアセスメント（危険性又は有害性等の調査）を取り入れた安全作業手順の作成・周知（特に、指定危険作業）
  
- (4) 非定常・予定外作業（作業内容変更時等）の教育等安全管理の徹底
  
- (5) 再下請負人の管理
  - 1) 再下請負人の適正な選定、単独作業にならない配置と管理指導（指示伝達事項の確実な周知徹底）
  - 2) 二次以降協力会社の安全衛生・環境管理協議会の参加
  - 3) 社会保険未加入事業者の排除
  - 4) グリーンサイトを活用した労務管理の実施
  - 5) 建設キャリアアップシステム技能者登録の推進と就業履歴の確実な蓄積
  
- (6) 職長会の充実
  
- (7) 労災上積み保険の加入促進
  
- (8) 安全協力会、パートナー会の活動推進

## 2022年度 環境安全衛生行事計画表

(2022. 4. 1～2023. 3. 31)

所属 月	本 社	支 社 ・ 支 店	作 業 所
4	安全祈願 春の全国交通安全運動(4/6～15) 本社安全衛生委員会 本社品質保証・環境保全委員会	安全祈願 春の全国交通安全運動(4/6～15) 支社・支店安全衛生委員会(毎月) 支社・支店品質保証・環境保全委員会	安全祈願 春の全国交通安全運動(4/6～15)
5			
6	全国安全週間準備期間(6/1～30) 日建連 災害防止対策特別活動(6/1～30) 環境月間(6/1～30) 安全衛生大会 中日本支社                    (6/10) 西日本支社                    (6/16) 東日本支社・海外支店      (6/17)	全国安全週間準備期間(6/1～30) 日建連 災害防止対策特別活動(6/1～30) 環境月間(6/1～30) 安全衛生大会 中日本支社                    (6/10) 西日本支社                    (6/16) 東日本支社・海外支店      (6/17)	全国安全週間準備期間(6/1～30) 日建連 災害防止対策特別活動(6/1～30) 環境月間(6/1～30) 安全衛生大会 中日本支社                    (6/10) 西日本支社                    (6/16) 東日本支社・海外支店      (6/17)
7	全国安全週間(7/1～7)	全国安全週間(7/1～7)	全国安全週間(7/1～7)
8	電気使用安全月間(8/1～31)	電気使用安全月間(8/1～31)	電気使用安全月間(8/1～31)
9	全国労働衛生週間準備期間(9/1～30) 防災の日(9/1) 秋の全国交通安全運動(9/21～30)	全国労働衛生週間準備期間(9/1～30) 防災の日(9/1) 秋の全国交通安全運動(9/21～30)	全国労働衛生週間準備期間(9/1～30) 防災の日(9/1) 秋の全国交通安全運動(9/21～30)
10	全国労働衛生週間(10/1～7) 全国建設業労働災害防止大会(金沢)10/6～7 3R推進月間(10/1～10/31) 本社安全衛生委員会 本社品質保証・環境保全委員会	全国労働衛生週間(10/1～7) 全国建設業労働災害防止大会(金沢)10/6～7 3R推進月間(10/1～10/31)	全国労働衛生週間(10/1～7) 全国建設業労働災害防止大会(金沢)10/6～7 3R推進月間(10/1～10/31)
11	秋の全国火災予防運動(11/9～15)	秋の全国火災予防運動(11/9～15)	秋の全国火災予防運動(11/9～15)
12	年末年始労働災害防止強調期間(12/1～1/15)	年末年始労働災害防止強調期間(12/1～1/15)	年末年始労働災害防止強調期間(12/1～1/15)
1	安全祈願 年末年始労働災害防止強調期間(12/1～1/15)	安全祈願 年末年始労働災害防止強調期間(12/1～1/15) 支社・支店コスモスMR	安全祈願 年末年始労働災害防止強調期間(12/1～1/15)
2	本社安全衛生委員会 本社品質保証・環境保全委員会 社長MR		
3	年度末労働災害防止強調月間(3/1～31) 春の全国火災予防運動(3/1～7)	年度末労働災害防止強調月間(3/1～31) 春の全国火災予防運動(3/1～7)	年度末労働災害防止強調月間(3/1～31) 春の全国火災予防運動(3/1～7)
随時	本社安全衛生パトロール 社員教育、健康診断 安全論文・標語等募集 社外研修、渉外業務	安全衛生パトロール、ライン監査 社員教育、健康診断 社外研修、渉外業務	安全祈願祭 安全衛生・環境管理協議会 安全衛生大会、職長会 健康診断

## 2021年度 安全衛生 論文、ポスター、標語入選作品

### 『論文』

区分	会社名	店	所属	氏名	タイトル
最優秀	大日本土木(株)	西日本	環境安全品質部	廣瀬 淳司	“3つのカン”で安全活動
優秀	大日本土木(株)	海外	土木部	嘉門 淳	思考のルーチン化を防ぐ
優良	大日本土木(株)	中日本	岐阜内ヶ谷ダム	井端 豊	私の経験からの安全面における 建設業と製造業の比較

### 『ポスター』

区分	会社名	店	所属	氏名	タイトル
最優秀	大日本土木(株)	西日本	奈良学園増築	鵜飼 真行	つい楽すると墜落するぞ！
優秀	大日本土木(株)	中日本	地整北勢坂部T	木村 崇	無事故は週休2日から
優良	大日本土木(株)	東日本	環境安全品質部	仁木 由利子	ちゃんとグーパー運動しよう！

### 『標語』

区分	会社名	店	所属	氏名	標語
最優秀	大日本土木(株)	東日本	高速山北道路	山本 一人	危ないと話す勇氣と聞く心 チームで作る安全職場
優秀	横山工業(株)	中日本	岐阜川上2号T	上岡 忠幸	おかしいぞ 気づく技術も プロの技
優良	大日本土木(株)	西日本	近鉄安堂法面2	東 太一	朝の点検今日のため 終了点検明日のため

## “3つのカン”で安全活動

西日本支社 環境安全品質部 廣瀬 淳司

### ●はじめに

「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負け無し」。これは松浦静山（まつらせいざん）の言葉ですが、楽天イーグルス野村克也監督の座右の銘として話題になりました。

「無事故に不思議の無事故あり、事故に不思議の事故なし」。事故には、必ず原因があります。不思議の無事故はあっても、事故に不思議はありません。安全管理を運に任せてはいけません。危ないと感じたら一旦止まってリセットする。その勇気が危険回避に繋がるのです。

### ●ヒューマンエラーは運なのか

災害をヒューマンエラーで片付けている事はないでしょうか。「ヒューマンエラーが原因だから仕方ない」は絶対にありません。ヒューマンエラーが起きた、真の原因が背後にあるはずで、災害の原因を個人としてしまうと災害は繰り返されます。保護具を使わなくて災害が発生したのなら、なぜ保護具を使っていなかったのかを考える。保護具が無かったのか、保護具を使わなくても注意されなかったから使わなかったのか。転倒災害なら、整理整頓出来てないのか、照明不足なのか。鋭利な物で指を切ったなら、もっと安全な手順がなかったのか、何か慌てる理由があったのか。個人が悪いのではなく、背後にある真の原因を知らないと再発防止は出来ません。「ヒューマンエラーだから仕方ない」と考えているうちは、災害を減らす事はできません。災害の原因に不思議と言う事はありません。ましてや運が悪かったは無いのです。無災害を達成するには、一人ひとりの考え方を必要とすることが必要です。その為には「3つのカン」が大切です。

### ●3つのカン

3つのカンのひとつめは「危機感」です。日頃から危機感をもって仕事に取り組んでいないと考え方は変わりません。現状を分析し、自分の周りにおけるリスクを分析する事。品質・原価・工程・安全、今取り組まないとどうなるのかを分析する事が「仕事」です。言われた事だけをするのはロボットでも出来る「作業」です。無災害を達成するには、安全について現状を分析するだけでなく、品質・原価・工程についても、危機感を持って準備して効率的に取り組む事が大切です。

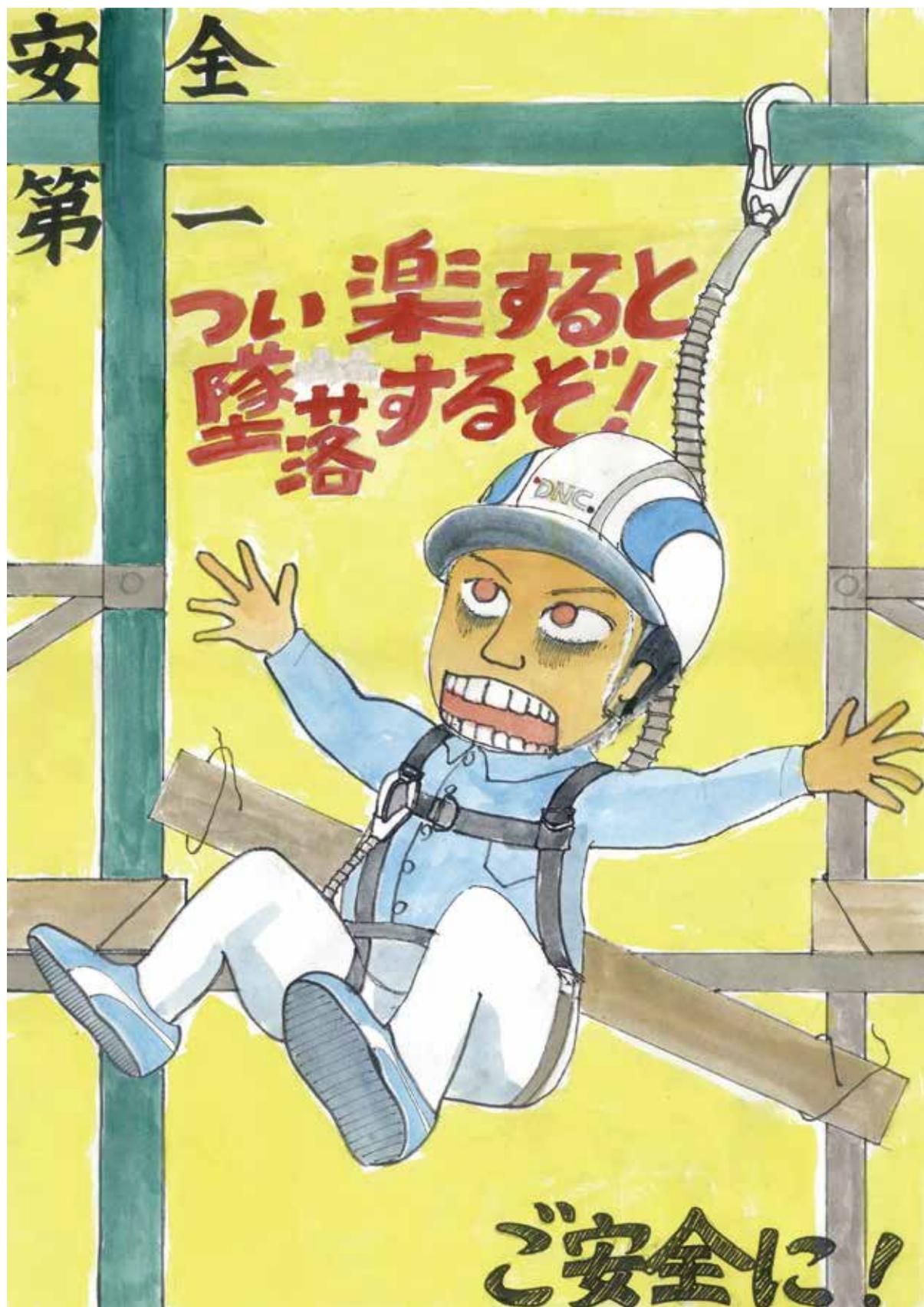
次に必要なカンは「達成感」です。危機感ばかりでは仕事が嫌になります。考えて仕事をしたあとに得た成功体験がとても大切です。無災害で表彰される。利益で表彰される。小さな現場でも、大きな現場でも成功体験が変わりはありません。ひとつの成功体験＝「達成感」を得ると、次へと挑戦したくなります。個人のモチベーションを上げる事がとても重要です。小さな現場だから評価されないと考えてしまうと、モチベーションも上がりません。目標を達成した全ての作業所が表彰され成功体験を実感する事がとても大切です。

最後のカンは「価値観」です。成功体験を続けると、仕事が楽しくなります。自分で考えて、少しでも効率よく、安全に作業を進めるようになります。仕事に取り組む考え方＝「価値観」が変わってきます。危ないと感じたら一旦止まってリセットする。これは簡単そうで簡単ではありません。自分で考えて行動していないと作業を止める事は出来ません。自分で考えてこそ、一旦止める勇気が出て、その勇気が危険回避に繋がるのです。

### ●仕事をやりがいのある物にする為には 誠実に誇りをもって挑戦する

企業理念の「安心」は、信頼を得て、努力を惜しまず、喜びを追求する事。信頼を得るためにはまず「安全・安心」な現場を作る事。その為に一人ひとりが考え、危機感をもって、工夫して仕事に取り組む事。工夫する事に努力を惜しまない事。若手からベテランまでが一緒になって努力し、喜びを追求する事が大切です。

今、建設業界は働き方改革が求められています。今まで価値観だと、残業や土曜日の作業が当たり前でした。これからは、4週8休で仕事を完了し利益を上げる事が求められます。その為には一人ひとりが考えて「ものづくり」に挑戦する事が安全な現場づくりに繋がります。挑戦するのは人です。まず「人」を作らなければ現場の安全は守れません。「人づくり」なくして「安全」なしです。



優秀賞



中日本支社 木村 崇

優良賞



東日本支社 仁木 由利子

## 2021 年度 環境 論文、ポスター、標語入選作品

### 『論文』

区 分	会社名	店	所 属	氏 名	タ イ ト ル
最優秀	大日本土木(株)	西日本	環境安全品質部	芝崎 良則	こまめに電気を消そう
優秀	大日本土木(株)	東日本	環境安全品質部	仁木 由利子	戻れるゴミミニマリストエコ活動
優良	大日本土木(株)	西日本	地整豊岡戸牧 T	小林 雄一	廃棄物の減量化とリサイクルの推進

### 『ポスター』

区 分	会社名	店	所 属	氏 名	タ イ ト ル
最優秀	大日本土木(株)	中日本	津島警察署庁舎	中島 正太郎	地球の未来に 自然の恵みを
優秀	大日本土木(株)	西日本	奈良学園増築	鶴飼 真行	俺をどうする気だ!?
優良	大日本土木(株)	海 外	タジク道路 3	今関 朔 (阿南正典 家族)	海はゴミバコなの?

### 『標語』

区 分	会社名	店	所 属	氏 名	標 語
最優秀	大日本土木(株)	中日本	津島警察署庁舎	藤澤 一貴	CO2CO2(コツコツ)と 減らしていこう 二酸化炭素
優秀	大日本土木(株)	中日本	地整四日市耐震	後藤 清治	ポイ捨ては 自分の心も 捨てること
優良	大日本土木(株)	西日本	千苺処理施設	阪本 一磨	熱い気持ちで地球を COOL に 皆で防ごう温暖化
優良	大日本土木(株)	海 外	土木部	野沢 聡	捨てますか むだなく使えば残せる 資源 小さな努力で大きな成果
優良	大日本土木(株)	東日本	日野推進 3	加藤 宜仁	はじめよう 捨てずに生かす 循環社会

## こまめに電気を消そう

西日本支社 環境安全品質部 芝崎 良則

「こまめに電気を消そう。」とは、実家でも職場でもよく見聞きする言葉だ。ただ、実際にこまめに電気のオン・オフをしたところで、どれぐらいの金額やCO<sub>2</sub>の削減になるか、何本分の木のCO<sub>2</sub>吸収量になるのか。そういった詳細を具体的に調べた人は決して多くはないのだろうか。

私が今までに配属になった現場や、現在勤務している西日本支社内では昼休み時には照明をオフにしている。毎日社員の誰かによって何気なくされているこの行動がこういった効果を生み出しているかについて、この論文で述べている。

まず、蛍光灯の消費電力について考えた。

現在、西日本支社の店内には100人程度が勤務しており、蛍光灯の本数は200本強ほどあった。支社内で7～19時の間ずっと蛍光灯を点灯していると、1日あたり12時間の点灯時間となる。年間勤務日数が245日とすると、年間の点灯時間は $12 \times 245 = 2,940$ 時間となる。直管蛍光灯の消費電力を40Wとすると、蛍光灯1本あたり1年間で、 $2,940 \times 40 = 117,600\text{Wh} = 117.6\text{kWh}$ の電力消費量となる。

蛍光灯が約200本あると考えれば $117.6 \times 200 = 23,520\text{kWh}$ となる。

昼休憩の1時間の電力をオフにすると、12時間点灯のうちの1時間を削減できるので、電力の削減量は $23,520 \times (1/12) = 1,960\text{kWh}$ となる。

電気料金を1kWhあたり25円とすると、西日本支社として1年間に蛍光灯について掛かる金額は $23,520 \times 25 = 588,000$ 円となるが、毎日昼休みに消灯することで、 $1,960 \times 25 = 49,000$ 円分程度の電気料金の削減となっている。

次にCO<sub>2</sub>排出削減量について調べた。

算出方法は、電力会社が「CO<sub>2</sub>排出係数」というものをホームページ等で発表している。削減した電力量とCO<sub>2</sub>排出係数を掛け合わせたものがCO<sub>2</sub>削減量となる。関西電力によると、2021年度に最新の値として発表されていた排出係数は【0.318kg-CO<sub>2</sub>/kWh】であった。そのためCO<sub>2</sub>の削減量は $1,960 \times 0.318 = 623.28$ と計算できる。

つまり、毎日昼休みに消灯することで、年間で623kg程度のCO<sub>2</sub>削減量となる。

また、スギの二酸化炭素吸収量を調べた。

林野庁の資料では、スギは1年間平均で1本あたり約14kgの二酸化炭素を吸収すると示されていた。上記で計算した623kgの二酸化炭素は $623 \div 14 = 45$ 、つまり毎日こまめに昼休みに消灯することで削減できるCO<sub>2</sub>排出量は、45本分のスギが1年で消費する二酸化炭素と同量になるということだ。

これだけの電力・金額・CO<sub>2</sub>量の削減が、今西日本支社で「何気なく」行われている行動の結果となっている。このことを各作業所でも考えたとき、蛍光灯の本数等を数えて上記の式に入れ込むと、どのような作業所でも削減量がどうなるかの計算が行える。

また、蛍光灯以外のLED等を使っている照明についても、ワット数等を考えれば、自宅でも同様の計算が行える。

私がこの環境論文で特に言いたいのは、何気なく行っている行動に少し考えを巡らせ、どのような結果がそこに生じているのか。その結果を調べることの大切さである。

自分たちの行動がもたらす結果をしっかりと知り、無駄を減らすために積極的に行動を起こすことと、内容を知らずに何気なく行動をすることでは、行動をする際のモチベーションや熱の入り方が異なってくる。また内容を知っていると誰かが電気を消し忘れていたときには代わりに自分がやろう、と考えを持つこともできる。

また、このような内容を知っていると、今回の行動に派生し、「その部署で最後に帰宅する人間は、帰宅時に部署の電気を消していこう。」「今まで行っていなかった各作業所や自宅でも、同様にこまめに電気を消そう。」といった行動が広がっていくことも期待できる。

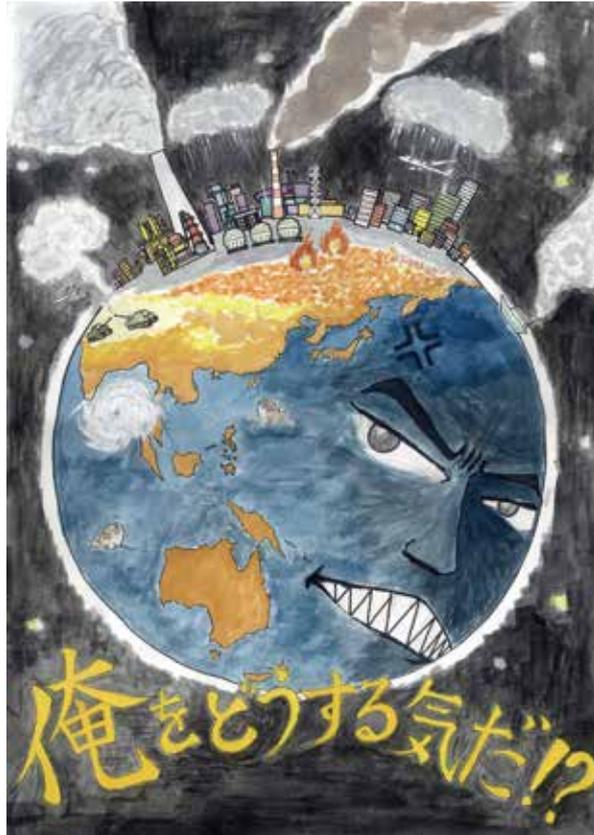
大日本土木のホームページを確認していると、SDGsで、環境・エネルギーの調和という項目で低炭素社会の実現が挙げられていた。

SDGsという言葉は新しいが、内容について難しいことなどは特に述べられておらず、また昔とそうそう言っている内容も変わらない。低炭素社会とは「CO<sub>2</sub>の排出が少ない社会のことであり、地球温暖化の緩和を目的とする」ものである。まさに、この論文の内容は、その実践の一助ともなるものである。この論文で、「そんな些細なことだけでもいいんだ。」と気づき、それがDNC内の常識となり、ひいては社会全体の大きな流れとなることを期待する。



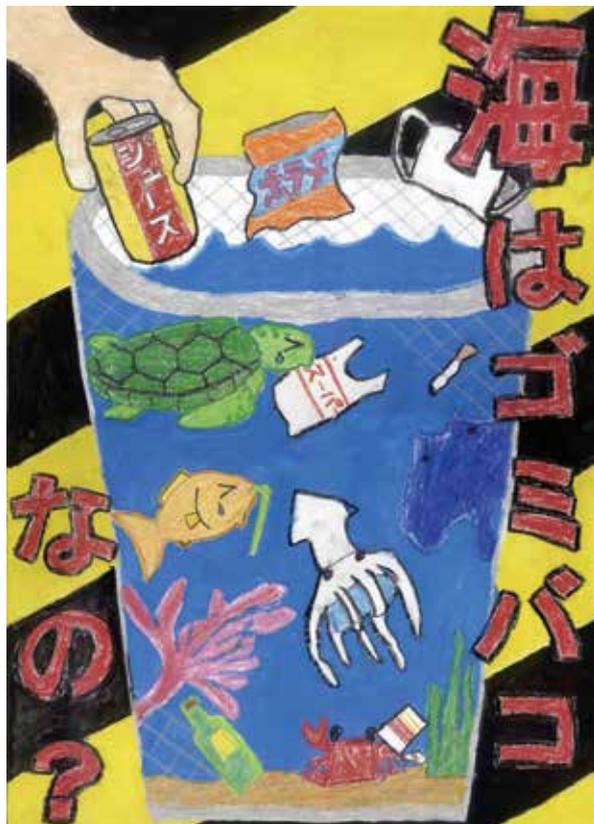
中日本支社 中島 正太郎

優秀賞



西日本支社 鶴飼 真行

優良賞



海外支店 今関 朔 (阿南正典 家族)

# 本部だより

## 1. 安全祈願

令和4年1月25日（火）に、明治神宮にて櫻井名誉会長、佐々木会長、藤澤副会長、森屋副会長、山川副会長と本部事務局が参加し今年一年の安全祈願を厳かに執り行いました。



## 2. 安全衛生環境パトロール

安全協定会本部役員による特別パトロールを実施しました。



昼礼時安全講話



パトロール参加者一同

- 1) 実施日：令和3年11月11日（木）
- 2) 巡視作業所：中日本支社建築工事部 岐県庁舎議会棟作業所
- 3) 巡視者： 櫻井名誉会長（代表取締役専務執行委員）森屋副会長（名古屋支部長）  
岡山本部事務局長（本社環境安全品質部長）山口名古屋支部事務局長（中日本支社環境安全品質部次長）



昼礼時安全講話



パトロール参加者一同

- 1) 実施日：令和4年3月11日（金）
- 2) 巡視作業所：東日本支社土木工事部 地整五霞下部作業所
- 3) 巡視者：櫻井名誉会長（代表取締役専務執行委員）藤澤副会長（東京支部長）  
岡山本部事務局長（本社環境安全品質部長）、亀井東京支部事務局長（東日本支社環境安全品質部次長）

# 支部だより

## 東京支部

### 1. 安全祈願

令和4年1月14日（金）に、明治神宮にて藤澤支部長をはじめ東京支部役員5名と支社幹部5名が参加して今年一年の安全祈願を厳かに執り行いました。今年も新型コロナウイルスの影響で参加人員が制限されました。



### 2. 安全衛生環境パトロール

令和4年2月4日（金）に、第2回合同安全衛生環境パトロールを実施しました。藤澤支部長をはじめ東京支部役員で4班を編成し、建築3、土木1、計4作業所に対し実施しました。パトロール実施後、東京支店にて竹田支社長、建築土木各副支社長、工事部長に参加して頂き、安全協力会からの指導・要望事項等を作業所毎に班長が報告し、今後の改善に努めて頂くことをお願い致しました。



＜建築＞1班：大和町田学生M作業所



＜建築＞2班：渡辺電機本社作業所



＜建築＞3班：王子江戸川倉庫作業所



＜土木＞4班：地整石岡下部作業所

# 名古屋支部

## 1. 安全祈願

令和4年1月15日（土）に、猿田彦神社にて森屋支部長・岡崎副支部長・酒井田副支部長、をはじめ本部より櫻井名誉会長にも参加して頂き他幹部と、今年一年の安全祈願を厳かに執り行いました。その後、伊勢神宮（内宮）を参拝しました。昨年に続き今年も、コロナ対応のため参加人数を最小限に絞っての実施でした。



## 2. 安全衛生環境パトロール

令和3年12月7日（火）に、土木・建築各々1現場ずつパトロールを実施しました。

現場巡視後には、事故防止活動や衛生管理などについて各現場の対応発表や、現場巡視結果などの講評を行い、多発する中日本支社内での事故をストップさせることを共通認識として共有するための有意義なパトロールとなりました。



パトロール参加者一同



現場巡視

<土木> 岐阜新愛岐C3作業所



現場説明・講評状況



現場状況

<建築> 川崎岐阜社員寮作業所

## 大阪支部

### 1. 安全祈願

令和4年1月20日（木）に、大神神社（おおみわじんじゃ）にて、支社幹部、安全協力会役員と合同により、今年一年の安全祈願を厳かに執り行いました。大神神社のご祭神は大物主大神（おおものぬしのおおかみ）さまで、国造りの神様として尊崇されています。



### 2. 安全衛生環境パトロール

労働災害の撲滅を図る為、支社安全衛生環境パトロールに参加して安全指導を行いました。協力会参加のパトロールは、コロナウィルス感染症防止対策を取りながら、延べ27作業所にて活動を行いました。2018年にデザインを一新した白地に赤ラインの職長ヘルメットは、74個を支給し、職長と現場が一体となった安全活動、安全意識の向上に役立っています。



<土木>吹田片山推進作業所



<建築>高速阪奈事務所作業所

フルハーネス等の特別教育も実施し、必要な資格の取得支援を行っています。

今後とも特別教育、重機死角体験教育、視聴覚教育等を実施し、安全意識の向上に役立てて参りたいと思います。



フルハーネス特別教育（服装）



フルハーネス特別教育（掛替）

### 3. 今後の活動予定

- 4月 安全祈願（難波八坂神社）
- 6月 支部総会（大阪国際交流センター）
- 7月 合同安全パトロール

※大日本土木株式会社人事異動により、東日本支社と西日本支社の環境安全品質部次長が変更になりました。

## 2022年度 大日本土木安全協力会 本部役員名簿

本部役職名	会 社／役職名	氏 名	備 考
名誉会長	大日本土木(株) 代表取締役 専務執行役員	櫻 井 俊 介	
会 長	児玉建設(株) 代表取締役	佐々木 邦衛	
副会長	(株)森田組 代表取締役	藤 澤 徹	東京支部 支部長
”	(株)森屋製作所 代表取締役社長	森 屋 泰 則	名古屋支部 支部長
”	(株)山川 代表取締役	山 川 数 也	大阪支部 支部長
本部理事	成友興業(株) 取締役副社長執行役員	萩 森 孝 紀	東京支部 副支部長
”	三生設備(株) 代表取締役社長	細 井 芳 人	東京支部 副支部長
”	(株)岡崎組 代表取締役	岡 崎 弘 志	名古屋支部 副支部長
”	(株)酒井田工務店 代表取締役社長	酒 井 田 雅 一	名古屋支部 副支部長
”	(株)浅田鉄筋 代表取締役社長	浅 田 宜 彦	大阪支部 副支部長
”	(株)村岡 代表取締役	村 岡 順 次 郎	大阪支部 副支部長
”	大日本土木(株)東日本支社 環境安全品質部次長	廣 瀬 淳 司	東京支部 事務局長 ※
”	大日本土木(株)中日本支社 環境安全品質部次長	山 口 英 也	名古屋支部 事務局長
”	大日本土木(株)西日本支社 環境安全品質部次長	亀 井 利 勝	大阪支部 事務局長 ※
本部監事	(株)横内工業 取締役相談役	横 内 眞	
”	大日本土木(株)本社 管理副本部長兼総務部長	柴 崎 三 文	
本部事務局長 本部理事	大日本土木(株)本社 環境安全品質部長	岡 山 孝	

## 『Buldee <調整会議>』の運用について

大日本土木(株)におきましては「働き方改革」推進のため、様々な角度から業務上の改善を図っているところです。その一環として、2022年6月から『Buldee <調整会議>』を各作業所で導入する予定です。

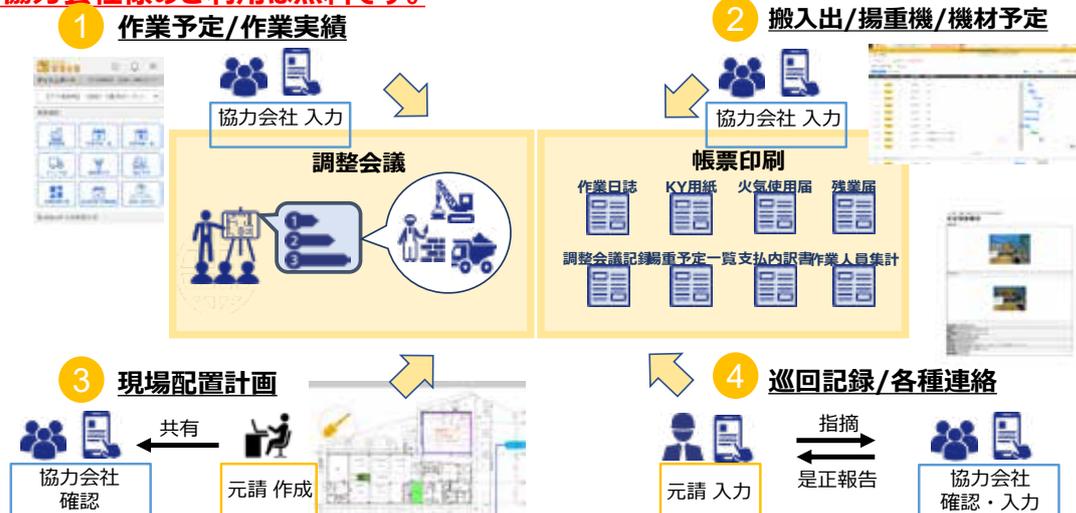
『Buldee <調整会議>』は、作業予定や作業注意事項、車両搬出入・揚重機械の使用予定、巡視結果、作業実績・出面を当社・関係請負人の間で常に共有確認できるため、事前の作業間連絡調整や日々の調整会議の進行を円滑に行えるなど、現場業務の負担を軽減し、「働き方改革」を後押しするものと考えています。

また、各協力会社の職長等の皆様がスマホでいつでもどこでも入力及び修正ができ、他社の車両搬出入・揚重機械の使用状況も確認できる等様々な利便性があります。さらに、ブラウザでの動作の為、アプリのインストールや設定が不要でスマホ等の通信費のみでおこなえます。

## Buldee 「Buldee調整会議」サービス概要

- 「Buldee調整会議」は、建設現場 施工管理上の諸業務を効率化できるWebサービスです。
- Webブラウザ対応で、アプリのインストールや設定不要。お持ちのパソコン、**タブレット**、**スマホ**いつでもどこでもご利用いただけます。

※協力会社様のご利用は無料です。



Copyright © e-reverse.com, Inc All Rights Reserved.

# Buildee ユーザー登録から利用開始までの流れ

## 【BuildeeID発行手順】

元請 支店管理者

PC・タブレット・(スマホ)



・現場監督ユーザーID登録  
・現場登録

元請 現場監督

PC・タブレット・(スマホ)



・職長ユーザーID登録  
・現場情報設定

協力会社 職長

(PC・タブレット)・スマホ



・利用開始

## 【Buildee利用手順】

協力会社 職長

ブラウザ検索から

ビルディー 検索

QRコード読み取りから



buildee.jp

協力会社 職長

Buildeeログイン画面



ID・パスワード  
入力

元請 本社・支店・現場監督

協力会社 職長

Buildee操作画面



スマホ版画面

PC版・タブレット版画面

Copyright © e-reverse.com, Inc All Rights Reserved.

# Buildee 調整会議を使った1日の業務の流れ



Copyright © e-reverse.com, Inc All Rights Reserved.